



■活動日：2016年8月13日（土） 9：00～12：00

■参加者：チーム神於山 正会員 7名

■活動内容

- ・真夏日が続くお盆休みの真っ只中でしたが、7名参加。
上部植栽地の草刈りと、間伐した木から萌芽更新した枝の剪定に、良い汗を流しました。
- ・草刈りは、上部植栽地の最上部の、フクロウが営巣した木のある「クリの木広場」から基地の方へ、また剪定も同様に、上部から下部に刈りながら降りるという形で進め、10時半過ぎにはほぼ予定通り終えることができました。
- ・参加頂いた7名のメンバーの皆さん、お疲れ様でした。

■次回の目標

- ・次回は、9月から本格化するフクロウの住む森づくりに備え、引き続き上部植栽地の整備に取り組みます。
- ・また延び延びになっているイベントのメニュー作りや、基地の整備に取り組む予定です。
- ・お盆が明ければ、暑さも少しは和らぐと思いますので、奮ってご参加ください。

■上部植栽地の草刈り

準備は入念に。作業は基本に沿って安全に。



作業開始前に、刈払機を入念に調整中。

- ・刈払機は、エンジンを温めるアイドリング時と、草を刈る時以外はエンジンを切る事、また作業中の刈払機からは、5m以上離れる事が基本です
- ・刈払機の事故は、この基本を外れた作業や行動を行った場合に起きると言われます。
- ・ツルが巻き付き回転が止まったのでエンジンを止めずにツルを外した為、外した瞬間に歯が回転し、指を落としたとか、チップソーが撥ねた小石で怪我をしたとか言う事故がその例です。
- ・神於山では、森づくりを始めてからこれまで、事故は一度も起きていませんが、これからも基本に基づいた作業で、事故0を続けたいと思います。

■作業風景。 植栽地の中は木陰で、気温は28度でしたが、湿度が60%超で、熱中症は警戒レベルでした。



クリの木広場は、チジミ笹が地面を覆っていました。



林内の雑草は、刈払機4台でサクサク刈り取りました。

- ・植栽地の中は、育った苗木が日陰を作ってくれますから、気温は28度と低いものの湿度が60%を超えていたので、携帯熱中症計“見守りっち”は、6段階の真ん中の「警戒」表示でした。
- ・この上は「嚴重警戒」と「危険」で、「危険」になると作業は中止です。
- ・林内は、自然植生の雑草とチジミ笹が20～30cmの高さで覆っている程度ですから、作業はそれ程きつくはありませんが、面積が広い分大変です。
- ・そこで、基地からと、林道からの2本ある作業道の確保を目標に作業を進め、ほぼクリアしました。

■作業の後の打ち合わせ + 記念の一枚

ワイワイ がやがや・・・



- 10時半に作業が終わった後は、シャープの近況からフクロウの棲む森づくりまで、四方山話に花が咲きました。
- フクロウの棲む森づくりについては、木枠に薄い板を張る方向で巣箱の軽量化を検討してくれている金井さんから、組み立て方や取り付け方のアイデアを聞きました。
- 次回は、二つ作る巣箱を何処につけるかや、カメラをいくつ、どの様に付けるかなどを検討します。
次回もまたワイワイがやがや賑やかになりそうです。



撮る前はポーズ談義にワイワイガヤガヤ・・・



いざ撮るとなると、真面目なすまし顔に。

■森の状況

スッキリしました



クリの木広場



上部植栽地入口

10年で変わるもの



分解して自然に帰る木

変わらないもの



神於山シャープの森の森づくり

以上